

平成28年度 兵庫県立川西緑台高等学校 学校評価

職員による学校自己点検				平成 28 年度 (%)					平成 27 年度 (%)					平成 26 年度 (%)						
領域	評価の観点	評価項目	実践目標	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない		
学校運営	開かれた学校づくり	家庭、地域への情報発信	1	学校のHPを通じて、学校の情報を可能な限り公表し、内容の更新も月ベースで実施する。	10	46	13	4	17	23	46	23	0	8	9	56	18	2	16	
			2	中学校訪問、オンラインスクール、学校説明会等を通じ、学校のPR活動を充実させる。	25	54	8	2	2	31	46	18	0	5	22	51	18	2	7	
		地域や関係機関と連携した学校づくり	3	地域や近隣の学校・関係諸機関との連携を密にし、不審者等の情報を共有する。	6	56	19	2	6	21	46	13	5	15	7	56	24	0	13	
	生徒指導	生徒指導方針の確立と指導体制の推進	4	職員・生徒・保護者に生徒指導方針を明確にし、共通理解を図る。	6	60	19	4	0	13	59	21	3	3	7	58	29	2	4	
			生徒の内面を図る指導の工夫	5	随時個人面談を実施するとともに、家庭との連携を図り、必要に応じ家庭訪問を実施する。	17	58	8	4	4	23	56	13	0	8	13	56	13	2	16
			6	キャンパスカウンセラーによるカウンセリング研修を実施し、生徒の内面理解に基づく指導について実践力を向上させる	15	63	6	2	4	15	79	5	0	0	13	67	18	0	2	
			7	教育相談を充実させ、生徒の内面理解を深める。	15	69	10	2	2	13	59	21	0	8	11	62	16	7	4	
			8	生徒会活動、部活動を活性化し、生徒の自立意識を高め、一人一人の生徒が自己の特性を生かし、創造性、協働性を発揮して、充実した活動ができるように努める。	8	56	15	2	8	13	59	13	3	10	11	51	24	2	11	
			9	三年間を見据えた進路計画を作成し、組織的・継続的な進路指導を行う。	8	60	13	6	4	15	56	26	0	3	11	62	16	2	9	
	進路指導	進路指導の充実	10	進路状況、模試等の結果を分析し、進路指導に活かす。	15	56	13	4	4	15	62	21	0	3	11	69	18	2	0	
			11	模試等の結果を分析し、学習指導に活かす。	8	58	19	4	2	18	54	26	0	3	4	60	29	2	4	
			12	「進路情報」の発行により、生徒・保護者に的確な情報を提供する。	2	65	10	4	10	15	54	23	3	3	11	67	18	0	4	
			13	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	27	54	4	2	2	26	49	21	0	5	13	58	24	0	4	
			14	主体的な進路選択能力の育成	19	56	13	2	0	13	56	18	0	13	9	47	29	2	13	
			15	LHRや総合的な学習の時間で、自らに選んだ職業・学部・学科等を見つけることができる力を身につかせる。	10	65	10	6	0	13	56	13	0	18	7	58	16	2	13	
教職員の質の向上	計画性を持った研修の実施	16	研究授業、公開授業を積極的に行い、教科指導の工夫と指導力の向上を図る。	10	60	17	2	2	18	46	28	5	3	7	42	42	4	2		
		17	進路、生徒指導、保健、人権等、学校の諸課題について職員研修を実施する。	8	63	15	4	0	10	54	31	5	0	16	58	22	2	0		
教育課程	教育課程	教育課程の編成	18	教育目標の実現を目指して、生徒・学校の実態を考慮した適切な教育課程を編成する。	4	71	8	4	2	13	59	18	0	10	13	53	20	7	4	
			19	1回当たりの授業時間（65分授業等）、定期考査の実施時期などを検討し、本校に適した制度を見出す。	15	43	23	2	2	13	59	23	5	0	11	36	38	9	7	
	基礎基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	20	定期考査等で生徒の学力を的確に把握し、その結果を授業、補習、補充等での指導に反映する。	10	73	8	0	0	23	69	5	0	3	13	64	18	0	4	
			21	教科毎に評価基準を設定し、それに基づいた評価を行う。	25	58	4	2	0	26	62	8	3	3	13	56	24	2	4	

職員による学校自己点検			平成 28 年度 (%)				平成 27 年度 (%)				平成 26 年度 (%)								
教育課程	部に応じた学習指導	指導形態の工夫	22	習熟度別指導、少人数指導、同室複数指導等で、個に応じた指導を行い、学力向上を図る。	8	58	10	6	4	18	56	15	3	8	13	33	40	7	7
			23	年間計画に基づいて、計画的、系統的に学習指導を行う。	19	60	10	0	0	23	62	13	0	3	13	69	13	0	4
			24	自ら主体的に学ぶ習慣を身に付けさせる。	4	50	31	0	4	10	49	36	0	5	13	38	40	4	4
	総合的な学習の時間	実施計画	25	教務部、進路指導部を中心として、3年間を見据えた指導計画を作成する。	6	65	6	6	6	5	59	21	3	13	7	53	31	2	7
		創意工夫を生かした実践の展開	26	図書館や情報教室等の施設を利用した探究活動や、発表等による表現活動を行う。	10	50	25	2	0	23	36	28	10	3	7	49	33	9	2
	特別活動	学校行事の精選と内容の充実	27	行事を精選し、適切な時期に実施する。	8	56	15	8	2	13	46	28	5	8	4	24	53	11	4
			28	行事内容の充実を図る。	10	50	25	2	0	10	54	31	5	0	4	49	40	7	0
			29	学校行事実施後はアンケート等により、その結果を次回に反映させる。	10	63	6	6	2	10	59	15	8	8	11	47	31	9	2
	課題教育	課外活動	ボランティア活動	30	生徒会を中心にしてボランティア活動・募金活動等に積極的に参加する。	6	40	29	2	10	10	31	36	5	18	4	36	36	13
人権教育			人権意識の育成	31	人権HRや講演会等を計画的に実施し人権についての意識を向上させる。	10	65	10	2	0	10	62	23	3	3	18	56	22	2
防災・安全教育		実践力の向上	32	学校全体の教育活動を通じて、人権を相互に尊重しあう意識、姿勢、実践力を向上させる。	6	56	17	2	6	8	64	21	0	8	7	58	29	2	4
		教職員の防災教育に関わる指導力・実践力の向上	33	防災（避難）訓練の実施を通し、防災について認識を深め、防災マニュアルの周知を図る。	6	56	19	2	4	3	64	26	3	5	9	51	31	4	2
			34	救急救命講習（AED等）を実施し、救急時に対応できる実践力を身につける	31	46	6	0	2	38	59	3	0	0	31	56	13	0	0
		実践的な安全教育への取り組み	35	生徒会、運動部の生徒を中心とした救急救命講習を実施する。	25	58	0	2	2	38	62	0	0	0	22	69	4	0	4
国際理解教育		コミュニケーション能力の向上	36	家庭、関係機関との連携を深め、交通安全指導を強化し、交通ルールを遵守させ事故防止を図る。	2	33	40	10	2	13	59	26	0	3	7	44	33	11	4
			37	A L T を外国語の授業に積極的に活用し、コミュニケーション能力の育成を図る。	8	56	10	0	13	21	54	13	0	13	16	56	11	2	16
			38	A L T を授業以外にも積極的に活用し、異文化理解の深化を図る。	6	38	27	2	15	10	56	18	5	10	11	31	36	2	20
情報教育		情報活用能力の育成	39	姉妹校との交流について、今後の交流計画を検討し策定する。	10	52	15	4	6	15	41	15	8	21	11	51	24	2	9
	40		教科「情報」などを通して、機器の活用法・情報モラルを含め、情報活用能力の育成を図る。	15	52	6	2	13	15	64	8	0	13	11	64	7	0	13	
体験活動	就業体験活動の推進	41	保育実習、企業等での体験講話などを通して、職業を体験し、進路についての理解を深める。	10	50	8	4	15	21	44	26	0	10	4	62	16	0	13	
		42	地域行事への参加、学校周辺の環境美化、小学校との連携授業を行い、地域との連携を深める。	15	46	19	2	6	28	49	15	5	3	13	58	18	0	7	
特色選抜	特色選抜入学生への指導	43	特色選抜入学生徒に対して、計画的・系統的な指導を行う。	15	48	13	4	8	13	72	8	0	8	11	40	31	7	9	
学力向上	学力向上プロジェクトの推進	44	学力向上のための課題と方向性を明確にする。	4	50	21	8	6	15	54	23	0	8	11	31	36	11	7	